

たか はし こう こ
高橋 廣湖

— 千住が支えた画家 —

日 本画家 松本楓湖に学び、歴史画を得意とした廣湖(1875~1912)は、近代日本美術の指導者、岡倉天心にも認められた実力者でした。惜しくも37歳の若さで早世しますが、巽画会や国画玉成会といった日本画団体の幹部として活躍し、文化勲章受章者の堅山南風を育てるなど、画壇に大きな足跡を残しています。

上野・浅草付近に住んでいた廣湖に対して、千住では彼の活動を支援する「芳廣会」が結成され、絵の制作を依頼するなど、直接間接に彼を支えていました。



▲高橋廣湖《武内宿禰図》明治時代(名倉和子氏寄贈)



▲高橋廣湖《春の彼岸詣図屏風》明治時代(郷土博物館蔵名倉和子氏寄贈)



- 松本楓湖:明治大正の日本画家。歴史人物画を得意として、雑誌や新聞の挿絵を多く描きました、門下からは廣湖の他に、今村紫紅や速水御舟といった画家たちを輩出しています。
- 岡倉天心:本名は覚三。御雇外国人のアーネスト・フェノロサと一緒に、日本画の近代化を目指して、東京美術学校と日本美術院を創設した他、アメリカのボストン美術館の東洋美術部長も務めました。